

# 笠松ナビ 散策コース



笠松町のこのあたりを巡ります

## 5 輪中と森蘭丸の里

時間 40分

距離 3.2km

輪中とは、水害から家や田畠を守るためにその周囲を堤防で囲んだ地域のことを言います。この地域は木曽川と境川に挟まれおり、松枝輪中と呼ばれていました。このコースには、畠繫堤（はつなぎてい）や酒井七左衛門等の墓などの史跡があり、古くから水害に悩まされていました。

また、松枝には森越後守可成（よしなり）の居城「蓮台城」があったと言われています。そのほか、織田信長と斎藤道三が別れの儀を行ったという白鬚神社もあります。



各ポイントの詳しい情報は裏面にあるよ

木曾川

- 1 巡回町民バス下門間バス停
- 2 畠繫堤の恩人酒井七左衛門等の墓（慈眼寺）
- 3 五輪塔（慈眼寺）
- 4 北門間の地蔵様
- 5 御社古神跡
- 6 森越後守居城跡
- 7 道三・信長両将別れの地（白鬚神社）
- 8 東流廢寺（蓮台寺）塔礎石（白鬚神社）
- 9 巡回町民バス田代バス停 ゴール!!

スタート

151

岐阜羽島警察署

笠松町福祉健康センター

笠松町運動公園

冠婚葬祭の駅 22

うなぎの駅 14

花と唄声の駅 46

ココでリフォームの駅 38

北門間会館

名鉄竹鼻線

パソコン・デジタル工房の駅 2

水屋

神明神社

笠希な駅 13

松枝小

松枝公民館

酒と気軽な絵画の駅 10

おいしいご飯の駅 5



## 2 番繫堤の恩人酒井七左衛門等の墓(慈眼寺)

宝暦治水後、長良川の水位が上がり、出水時に境川が逆流するため松枝輪中の人々は水害に悩まされることが多くなりました。そこで、農民の代表 4 人が代官所へ堤を作つてほしいと願い出ましたが、牢に入れられてしまいました。境川からあふれてくる水をくい止めるため、農民は田を畠にかえ、畠に土を盛つて堤をつくりました。これが番繫堤です。新しく堤防を作ることは許されませんでしたが、代官酒井七左衛門は黙認し、幕府にも農民を救うように訴えました。農民はその恩に報いるため慈眼寺に酒井七左衛門の墓を作りました。

**宝暦治水**：江戸時代の宝暦4～5年（1754年～1755年）、幕命により薩摩藩がおこなった濃尾平野の治水対策で、木曽川、長良川、揖斐川の分流工事。酷暑と空腹から生水を飲み、赤痢による死者が続出。90人近くが死亡したとされる。



## 3 五輪塔(慈眼寺)

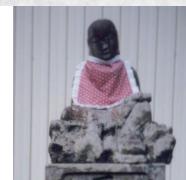
慈眼寺には、貞和 5 年 (1349 年) と記された古い五輪塔があります。平安時代 (今から 1200 年ほど前) から、亡くなつた人を供養する塔として用いられました。下から四角・円・三角・半円・宝珠の形になつてゐる石が積み重なつてゐるもので、下から地・水・火・風・空を表す梵字が書かれています。石造りが多く、金銅・木・泥土などでも造られました。

**梵字**：古代インドの言語（梵語）を表す文字。



## 4 北門間の地蔵様

天明元年 (1781 年) 9 月に作られた北門間の地蔵様は、昔から「はだか地蔵」と呼ばれています。時代が安定してからは、地蔵様を村の辻に安置して、人々の安全を願つてきました。現在の位置に移されるまでは、すぐ北の道の辻にありました。いい伝えによると、門間に昔から伝わる相続講などと同じように仏像を村々に持ち回つて供養をしていました。自然災害や病気から身を守るには、祈り以外にはなかつたのでしょう。この地蔵様は大きな役割を果たしていたと考えられます。



## 5 御社古神跡

天正 17 年 (1589 年) 頃、豊臣秀吉は日本中の土地を測りなおさせました (太閤検地)。その時、田代村は 498 石という村高に決められました。

この時の田畠を測る基準にしたところがこの場所でその時に使つた縄などの道具を埋めてしまつたところだ言われています。ちなみにこの土地の地名は社古地といいます。

**村高**：村全体の石高（米の生産性を元にした土地評価単位）。



## 6 森越後守居城跡

蓮台（今の田代）には、蓮台城があつたと言われています。城主であった森家は、美濃守護土岐家に仕え、暦応年中（1338 年～1341 年）からおよそ 200 年間、館を構えていたと言われています。



森氏の系図によると、城主森泰可は文亀～永正（1501 年～1520 年）の頃、この城に住んでいたと伝えられています。

泰可の子、可成（本能寺の変で信長とともに討死した森蘭丸の父）は信長の尾張平定に力を尽くし、桶狭間の戦いで手柄を立てたのを認められ、永禄 8 年（1565 年）鳥ヶ峰城（現在の兼山村、後に金山城と改名）を賜り、そこに移りました。

**桶狭間の戦い**：永禄 3 年（1560 年）、尾張の桶狭間で今川義元と織田信長が戦い、信長の天下統一のきっかけとなつた。

## 7 道三・信長両将別れの地(白鬚神社)

斎藤道三は、娘を信長に嫁がせています。天文 22 年（1553 年）富田の正徳寺（現在の一宮市）で道三と信長は親子対面しました。信長は世間でうつけ者と噂されていましたが、道三はこの対面で信長の器量を認めたと言われています。

そして両将は帰路を共にし、田代の八幡神社（白鬚神社合祀）で別れの儀式をしました。

その後、道三は稻葉山（金華山）の居城に、信長は那古野（名古屋市）の居城に引き上げました。



## 8 東流廃寺(蓮台寺)塔礎石(白鬚神社)

昭和 32 年（1957 年）土地改良工事を行つてゐた時、長池東流地区で土の中から半分に割れた寺の塔の礎石や瓦などが出てきました。礎石には、二重の穴があいていて、その大きさから塔の高さは 30 メートル近くあつたのではないかと推測されます。

この寺は、出土した場所から東流廃寺と呼ばれ、いくつかの建物や門などがあつたと思われます。

半分ずつ分かれてみつかった礎石は、西宮町の東別院と田代の白鬚神社に残されています。



お立ち寄り  
ポイント  
stop-point

コースから少し足をのばして散策♪



まだまだ  
見どころがあるね!  
笠松町には



### 水屋

昔から、松枝地域は水害に悩んでいました。そこで、洪水で田畠や屋敷が水につかってしまう生活ができるよう、石垣を高く積み上げその上に家を建てたものが水屋です。



まちの駅  
machi-no-eki

### まちの駅

思いがけない出会いがあるかも!

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 2 パソコン・デジタル工房の駅<br>[パソコン教室] | 14 うなぎの駅 [うお德]           |
| 5 おいしいご飯の駅<br>[和風食房 まほろば]   | 22 冠婚葬祭の駅<br>[(有) 東海ギフト] |
| 10 酒と気軽な絵画の駅<br>[みたに酒店]     | 38 ココでリフォームの駅<br>[サンセキ]  |
| 13 笠希な駅 [川島化成 (有)]          | 46 花と唄声の駅<br>[門間サロン水野]   |



笠松ナビ アプリをダウンロードしてもっと楽しみましょう♪

【問い合わせ先】笠松町歴史未来館

住所: 岐阜県羽島郡笠松町下本町 87 番地 TEL: 058-388-0161  
笠松ナビホームページ: <http://geoalpha.jp/kasamatsunavi>

笠松ナビ



[iPhone]



[Android]